



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

帯広東ロータリー・クラブ会報

[2021-2022年度]

会長／深澤佳世子
幹事／加藤 武志
会報編集 メディア委員長／池田 誠



帯広東RC HP

■創立：1984年6月15日 ■認証：1984年6月18日 ■例会日：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目23 帯広経済センタービル東館3F TEL(0155)25-7347 ■例会場所：ホテル日航ノースランド帯広 TEL(0155)24-1234

第1733回例会 (令和3年8月24日) 於 ホテル日航ノースランド帯広

起立
友情の握手
点鐘 深澤佳世子 会長
開会宣言

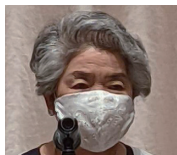
〈帯広東RC第1733回例会〉 安藤 洋幸 副SAA

ロータリーソング 奉仕の理想

- ②帯広南RC、家族野遊会開催のご案内
日時 令和3年8月29日(日) 午前10時
場所 森の里コミュニティセンター
※尚、8月30日(月)の繰上げ例会といたします。
- ③帯広西RC、家族野遊会開催のご案内
日時 令和3年9月12日(日) 午前11時
場所 グランピングリゾート フェアリーエンドルフ
※尚、9月9日(木)の繰下げ例会といたします。
- ④RI第2500地区 地区大会開催のご案内
日時 令和3年10月9日(土)～10日(日)
午前10:20(登録受付9:30)
場所 釧路市観光国際交流センターほか
登録料 7,000円(入会3年未満会員研修会(10/9)に参加の場合は別途2,000円)
※熱海土砂災害義援金について漆崎ガバナーよりお礼の文書を頂きました。

会長挨拶

深澤 佳世子 会長



皆さまおひさしぶりでございます。
8月6日の炎天下での道路清掃お疲れ様でした。奉仕のイベントでしたが普段の例会より会員同士がより近い存在に感じ、楽しい時間に思ったのは私だけでしょうか？
あの日からほぼ20日間皆様いかがお過ごしでしたでしょうか？
私は連日テレビから流れるコロナの感染者数、長い長い豪雨の九州、西日本の甚大な被害を目にし心を痛めておりました。以前は年に数回旅をしていて、主に西日本、九州、四国が多いのですが、あのウナギ屋さんは大丈夫か？また球磨川反乱か？壱岐の崖の下の宿はどうなった？と。想いを寄せておりました。私たちの地区は感染者が増えているとはいえ、他の地域に比べるとまだ医療体制のひっ迫も聞こえてきませんが、あの、山梨モデルと言われた優等生の山梨県、ずっと感染ゼロだった宮城、岩手、福井島根、でも今は大変な状況です。

私たちも十分注意して日常を過ごさなければなりません。そして災害を受けた方たち、コロナに感染してしまった方たちに優しい気持ちで寄り添いましょう。冒頭の道路清掃のお話に戻りますが、各テーブルに置いてあります資料をご覧ください。

今年度第2820地区ガバナー新井さんが提案しシャカール・メーター会長が賛同し世界中に広まったという「ロータリー奉仕デー」これについて先日合田がガバナー補佐からメールが届き、賛同頂けるか？という内容でした。

私もプラスチックごみについては忸怩たる思いがありますが又当クラブではずっと8月に道路清掃をしてきました。「これはこれ、それはそれ」という考えもあります。

「ロータリー奉仕デー」は必ずしも9月12日でなくとも良いとされておりますが世界中のロータリアンが一斉にというのも魅力を感じました。早速帯広西クラブさんでは9月12日に家族野遊会で取り入れるようです。

当クラブでは一年かけて皆さんのご意見を頂戴し、次年度の会長、副会長、幹事も相談し理事会に図りたいと思います。沢山の方のご意見 お待ちしております。

会務報告

加藤 武志 幹事

- ①帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日時 令和3年8月26日(木) 午後6時30分
場所 北海道ホテル

委員会報告

・ニコニコ献金 親睦活動委員会 白間 勝美 会員

- 令和3年8月24日 ニコニコ献金
- 深澤佳世子 会長 すっかり秋ですね。新年度も2ヶ月過ぎようとしています。
- 加藤 武志 幹事 8月17日の道路清掃に17名の参加を頂きありがとうございます。
- 池田 誠 会員 古川会員の卓話楽しみにしています。
- 金尾 泰明 会員 新入会員卓話終わりました。ありがとうございました。今回は古川会員の卓話でニコニコします。
- 白間 勝美 会員 前回の新人卓話はドキドキ。今回の古川会員の新人卓話でニコニコします。
- 古川 智章 会員 本日、新入会員卓話をします。宜しくお願い致します。



・出席報告 出席委員会 大塚 正昭 委員長

- 7月6日 出席者 26名
メイクアップ 1名
出席率 67.5%(会員数40名)
- 7月13日 出席者 28名
メイクアップ 1名
出席率 72.5%(会員数40名)
- 7月20日 出席者 26名
メイクアップ 1名
出席率 67.5%(会員数40名)
- 7月27日 出席者 17名
メイクアップ 3名
出席率 50.0%(会員数40名)
7月の出席率 64.4%でした。
前回の道路清掃出席者は17名、本日の出席者は20名です。



【新会員卓話】

古川 智章 会員 入会日 令和3年4月6日



4月6日に入会させて頂きました十勝環境整備／古川でございます。今回、新入会員卓話ということで、お時間を頂きましたので、私の自己紹介と会社の業務内容についてお話をさせて頂きたいと思っております。まず、私の自己紹介から。

私、古川智章は昭和47年1月25日に幕別町札内で生まれました。

姉弟は姉が一人おり、姉は現在、当社の事務員として一緒に働いております。小学校はチロット小学校、中学校は札内中学校に入学し、2年生になるときに札内中学校が札内東中学校と分離し、私は札内東中学校に移りました。ちなみに今年入会した金尾君とは小中学校の同級生、及川さんは札内中学校のとき2年先輩で、野球部の先輩として優しく、時には厳しくご指導頂きました。

中学校を卒業した後、釧路高専の電気工学科に進み、5年間釧路で下宿生活を送りました。十勝に住んでいながら高専を選んだ理由をよく聞かれますが、私が入学する1年前に情報工学科というコンピューター関連の学科が開設されたことを知り、「これからはパソコンの時代だ」と息を巻いて受験しましたが、見事打ち砕かれ、たまたま書いた第二志望の電気工学科に引っ掛かり、公立高校の受験も大変なので、そのまま入学したという感じです。2年生と4年生の時に大きな留年の危機を乗り越え、何とか5年間で無事に卒業し、愛知県常滑市に本社のある株式会社I N A Xという、住宅設備のメーカーに入社しました。現在は社名が変わり、株式会社L I X I Lという会社になっています。

I N A Xに入社し、最初に配属された部署は同じ愛知県常滑市にある洗面化粧台を生産している工場の生産設備の導入や改善、保全を担当する部署に配属されました。ここに約5年間在籍し、北海道へ転勤希望を出していたこともあり、その後、江別市にある江別工場に転籍し、2011年に退職するまでの間、ここで14年間業務を行いました。当時の江別工場はI N A Xの工場の中でも最も小さい工場です。社員10名、協力会社50名程度の規模で、北海道向けのユニットバスルームを生産している工場です。私が辞めた翌年に北広島市に移転し、現在は物流倉庫も併せ持った拠点となっておりますが、江別工場時代は社員が少なかったこともあり、とにかく幅広い業務を担当しました。元々、技術系として入社したので、当初は技術系っぽい業務を担当していましたが、その後、事務方に代わり、生産管理、物流・購買・経理・業績管理の業務を担当しました。

2011年の5月にI N A X（この時は既にL I X I L）を退職し、父が経営している十勝環境整備に専務取締役として入社し、2015年4月に代表取締役を仰せつかり、現在に至ります。

趣味はゴルフと釣り、その他アウトドア全般のことが大好きです。数年前から腰を痛め、今年はゴルフにはあまり行けていません。病院に行って「ゴルフダメ！」と言われるのも怖く、まだ病院に行っていませんが、最近釣りに腰の影響が出てきているので、そろそろ治療に行こうと思っています。完治した暁には是非お誘いいただければと思っております。今の家族は妻と猫1匹で札内に暮らしています。平成25年に結婚し、現在、結婚生活8年を迎えました。妻は帯広市内で「健康サロンゆらり」という整体サロンを営んでおります。

次に私共、十勝環境整備についての話をしたいと思います。

当社は平成5年に私の父である古川豊が創業しました。私の父はそれまで明治乳業帯広工場に長年勤務しておりました

が、50歳を機に脱サラし興した会社となります。現在は交通誘導警備業務を中心に、施設警備業務、建築物清掃業務を行っている会社です。高氏さんの会社とは重なる部分が多く、同じ業界の中で切磋琢磨しながらやらせてもらっている感じです。十勝環境整備の社名から警備会社とは想像できませんが、当初は屋外の維持清掃などを行うつもりでこの社名をつけたようですが、思うように事は運ばず、最初は幕別町の公共施設の清掃業務を受託し、その後、施設警備業務、交通警備にシフトしていき、現在は交通誘導警備が売り上げの7割を占めるほどになっています。交通誘導警備員とは、道路上に立っている紅白の旗を持ったガードマンのことを指します。請け負う現場としては、大きく建築現場と土木現場に大別されますが、当社は土木現場を中心に業務を行っております。また、その他にイベント現場における雑踏警備業務も行っています。花火大会など大規模な現場については、警備業協会を受託し、協会内の会社で分担しておりますが、当社が単独で警備を実施している現場としては、更別にあるサーキット場内の各種イベント警備や、町村の秋の収穫祭、ラリー北海道のコース警備等を実施しています。以上が当社の業務内容のお話となります。

最後に、今回ロータリークラブに入会させて頂き、どのようなモチベーションで取り組んでいこうかということについてお話ししたいと思います。お恥ずかしい話、今までボランティアなど全くやってこなかった私が、なぜ奉仕団体に？ということですが、まず、大きな理由としては以前に父が入会してお誘いを受けたことが発端ですが、先ほどお話をさせて頂いた通り、中学校を卒業してすぐに十勝を離れ、10年前に戻ってきたこともあり、なかなかこちらに知り合いが居ないため、異業種の方と接点を持ちたいと考え入会させて頂きました。また、少し建前的な理由にもなりますが、クラブの活動を通して社会に貢献したいという思いも少なからずあります。

先日の東京オリンピックの中で、メダリストのインタビューで良く言っていたのは「今まで支えてもらった全ての人に感謝したい」ということを良く耳にしました。私も今のように心身ともに健康で何とか仕事をさせてもらっているのは、これまで関わってきた全ての人に支えてもらい、ご指導を頂いたことで、今の自分が形成されていると思っています。メダリストの場合は、テレビの中でそのように感謝の言葉を伝えることができますが、私にはそんなことはできません。今までお世話になった学校の先生や職場の先輩、同僚、友人など、改めて直接感謝の言葉を伝えることは物理的な制約もありできませんし、お別れの挨拶みたいにもなってしまうため、中々できないものです。従って、クラブの活動を通して、若い世代の人達への支援や社会へ奉仕していくことが、今までお世話になった人たちへの恩返し又はメッセージになると考え、それをモチベーションとして取り組んでいきたいと思っています。

まだ入会したばかりで右も左も分からない若輩者ではございますが、早く皆様のお仲間になれるよう頑張っていきますので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。以上で私の卓話を終了します。

閉会宣言

安藤 洋幸 副SAA

点 鐘

深澤 佳世子 会長

次回プログラム予定

令和3年8月31日(火) 「ゲスト卓話」(十勝ロータリー奨学)公益財団法人とかち財団 理事長 長澤秀行 様